土　木　工　事　取　扱　要　綱

（ＲＰ敷設工事）

２０１８年４月制定

大阪市高速電気軌道株式会社

目　　次

第１章　計算基準 …… 1

第２章　算定基準 …… 2

第３章　出来高査定基準細目 …… 3

第1章　計算基準

工事数量の単位および小数位は、別表「小数位の標準」による。

別表「少数位の標準」

“位止”とは、表示された位で止めることを意味し、精算数量については位止以下を切捨て、それ以外は次の位で四捨五入を行う

工種	名称	精算数量		計算用数値または計算書記載数値		
		単位	小数位	表示別	単位	小数位
材料運搬工	RP運搬	延m	単位止	長さ	m	3位止
	RP付属品運搬	t	〃	重さ	kg	2位止
RP敷設工	一般線路部	延m	〃	長さ	m	〃
	分岐部					
	ピット部					
付帯工	材料搬入口閉塞	式	〃		式	単位止
その他	面積	㎡	〃	長さ 面積	m ㎡	2位止 〃
	体積	㎥	〃	長さ 体積	m ㎥	〃 〃

第2章　算 定 基 準

1．　材料運搬工

(1)　ＲＰ搬入、配置

搬入、配置の数量は、ＲＰの支給材料数量と同じとする。

(2)　ＲＰ付属品運搬、搬入、配置

運搬、搬入、配置は、支給数量に支給数量表の単位重量を乗じる

(例) ＲＰクリップ	3,244 組 × 4.83 kg＝(15.6685)	―→	15.67 t
調整板（ｔ＝５）	6,488 枚 × 0.17＝(1.1029)	―→	1.10
分岐用床版	582 組 × 18.30＝(10.6506)	―→	10.65
計			27.42 t

精 算 数 量＝２７ｔ

〔注〕（　）内の数字は記載の必要なし

上記運搬工の運搬、搬入、配置は下記の事をいう。

運搬：倉庫より現場付近までの運搬

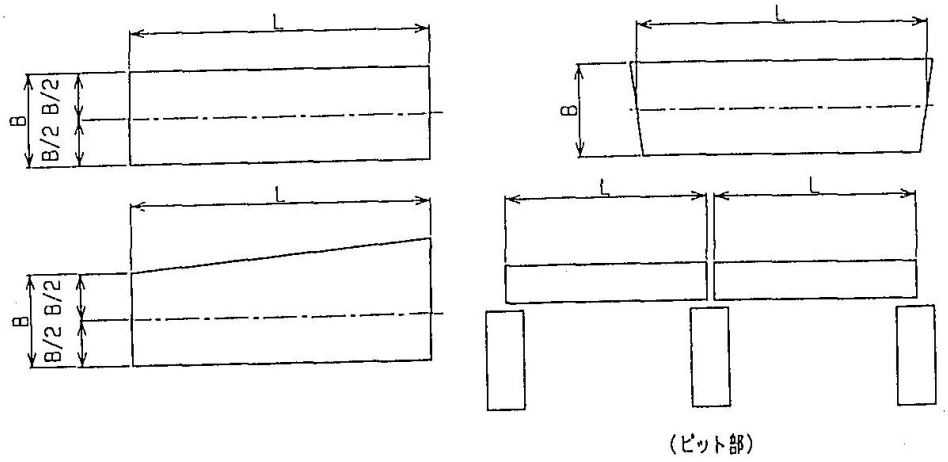
搬入：現場付近より構内搬入

配置：構内搬入されたものを所定の位置まで配置

2．ＲＰ敷設工

一般線路（側線、検車場を含む）、分岐、ピット部ＲＰ延長の数量は、実敷設延長とする。

ＲＰ１枚毎の長さは、次のとおりとする。



第3章　出来高査定基準細目

1．材料運搬工

(1)　ＲＰ搬入、配置

(ｱ) 搬入、配置完了検査済みのものは

出　来　高　　９０％以内と認める。

(ｲ) ＲＰ仮締め完了検査済みのものは

出　来　高　　１００％以内と認める。

(2)　ＲＰ付属品運搬、搬入、配置

(ｱ) 運搬、搬入、配置完了検査済みのものは

出　来　高　　９０％以内と認める。

(ｲ) ＲＰ仮締め完了検査済みのものは

出　来　高　　１００％以内と認める。

2．ＲＰ敷設工

一般線路部、分岐部、ピット部

(ｱ) ＲＰ本締め完了検査済みのものは

出　来　高　　９０％以内と認める。

(ｲ) トルク調整完了検査済みのものは

出　来　高　　１００％以内と認める。

3．付帯工

施工完了検査済みのものは

出　来　高　　１００％以内と認める。